

はじめに

【調査概要・目的】

我が国を代表する外食チェーンにつき、沿革・特徴や、業績・出店状況等の定量・定性データを収集し、それらを個別に、さらに業態別に、整理・加工・分析しました。それにより、我が国外食産業の現状・動向を客観的に把握することを目的としています。

【調査対象】

2019 年 1 月時点で、日本国内において 100 店舗以上(FC 店舗含む)展開を目安に、業態バランス等を考慮し代表的な外食チェーンを 50 抽出し、対象としています。

(第2章においては、これら 50 チェーンのほか、各業態における店舗数上位のチェーンも対象としています。)

【調査方法】

原則として、業績関連については各社決算データ等の開示データを、展開エリア関連については各社 HP 情報をソースとし、調査実施しました。

【調査期間・スケジュール】

2018 年 12 月～2019 年 7 月

(データ収集)2018 年 12 月～2019 年 6 月、(データ集計・加工・分析)2019 年 2 月～同年 7 月

(取り纏め)2019 年 7 月

データの見方と注意事項

第 1 章 外食 50 チェーン・個別データ分析

- 50 チェーンを個別に、見開き 2 ページで、1 号店・いつどこに(年月・場所)、企業の基本的プロフィール(事業会社又は持株会社の本店所在地・代表者・資本金)、店舗数と展開都道府県マップ(各年 1 月月初時点、2019 年を直近とし 4 年分)・地方別店舗割合(2019 年 1 月)、直近 4 期の業績:店舗売上高(開示ない場合、事業部門売上高もしくは企業売上高)・同前年比(%)、既存店売上高前年比(データ非開示チェーン除く)、店舗数・同前年比(増減数・店)、店舗当り年間売上高(推計可能な場合のみ)、直営・FC 比率(店舗数割合。一部非開示チェーンあり)の調査結果を掲載し、適宜コメントしています。
- 業績データは、原則として 2018 年 6 月～2019 年 4 月における本決算を直近年度としています。売上高については、「店舗売上高」を最優先とし、これの開示がないチェーンについては「事業部門売上高」または「企業売上高」を掲載しています。(50 チェーンのうち「八剣伝」のみ、2018 年 3 月期を直近としています。本書取り纏め時点で、2019 年 3 月期の店舗売上高データが未公開のためです。)
- 展開都道府県・店舗数データは、2019 年 1 月(月初)時点のものです。上述のとおり、店舗数は各チェーンの HP を閲覧・カウントしたのですが、これと企業公表値(IR 情報における 12 月末時点店舗数)とが異なる場合には、後者を採用していることがあります。

第 2 章 日本の外食チェーン・業態別データ分析

- ここでは、我が国外食チェーンについて、店舗数ベスト 10 をみだのち、「主要な業態別」に「店舗数上位チェーン」の動向を調査・分析しています(分析項目は、業態ごとに異なります)。
- 従って、対象チェーンは第1章の 50 チェーン以外(業態別の店舗数上位チェーンで、第1章に掲載していないもの)を含みます。
- 店舗数・展開エリア関係は、第1章と同じく 2019 年 1 月(月初)時点のものです。
- 売上高関連では、分析のための年度の括りを「4 月～3 月」ととしています。2018 年度(FY18)とは、2018 年 4 月～2019 年 3 月の間に迎えた本決算を指します。

以上は、基本的な事項です。これらの他にも、調査実施上設定した詳細条件があります。適宜注釈として記していますので、ご参照下さい。

2019 年 8 月

有限会社 フードビジネス総合研究所